

消防団に関するよくある質問

Q. 消防団とはなんですか

A. 市町村の非常備の消防機関であり、その構成員である消防団員は、他に本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、消防防災活動を行っています。

Q. 待遇はどうなっていますか

A. 市町村から数万円程度の年額報酬や出勤手当(概ね1回数千円程度)などが支給されます。その他、一定年数勤務して退団した際の退職報償金制度や、公務災害補償制度、制服の貸与等があります。

Q. 災害時は何をしますか

A. 火災が起きた際には、消防職員と協力して消火活動や近隣住民の安全確保などを行います。また風水害時には、河川などの警戒や土のう積み、避難の呼びかけなど、災害の種類によって、様々な対応を行います。

Q. 消防団員と消防職員の違いは

A. 消防団員は、他に本業を持っており、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、消火活動等を行います。消防団員の身分は、非常勤特別職の地方公務員です。一方、消防職員は、常時消防業務に専念する、一般職の地方公務員です。

消防団協力事業所表示制度

「消防団協力事業所表示制度」とは、事業所の消防団活動への協力を通して、地域防災体制がより一層充実されることを目的としています。認定を受けた「消防団協力事業所」は、取得した表示証を事業所に提示できるほか、自社ホームページなどでも広く公表できます。

「消防団協力事業所表示制度」表示マーク▶



機能別消防団員・分団制度

持っている能力や技術を活かし、役割や活動を特定して参加できるのが「機能別消防団員・分団制度」です。災害時はもとより平常時においても、様々な活動を通して、地域に貢献することができます。

機能別消防団員の活動一例：火災予防・広報、大規模災害時のみの活動、バイク隊、音楽隊など

学生消防団活動認証制度

「学生消防団活動認証制度」は、消防団員として活動した学生に対し、市町村長が「学生消防団活動認証証明書」を交付するものです。この証明書は就職活動の自己PRなどで活用できます。なお、本制度は大学や経済団体へ周知されています。

上記制度内容及び消防団員募集の手続などについては、各市町村ごとに定められていますので、居住地(または勤務地)の市役所・町村役場または最寄りの消防署にお問い合わせください。

■ お問い合わせ先

消防団に入るには

1 探す

ホームページ上の消防団一覧から、お近くの消防団を探します。

2 問い合わせる

入りたい消防団の連絡先を調べ、電話・メールなどでお問い合わせください。

3 消防団員に!

お問い合わせ先の案内に従い、入団手続きが完了すれば、晴れて「入団」となります。

私たちはなれる。 もしもの時のヒーローに。



街を守ろう。

めざめよヒーロー!

農家
馬場 康平
福岡市 早良消防団 脇山分団

消防団員募集



「もしも」の時のために、
仕事と両立しながら
参加できるのが消防団です。

みんなが、それぞれの仕事を持ちながら参加しているのが消防団。
2つの顔を上手に両立しながら活動しています。
消防団の活動は消火や防災だけではなく、
地域のことをよく知っているあなただからこそ、
できることがあります。

自分たちの街だから、
自分たちの手で
守りたい。

農家 馬場康平 福岡市 早良消防団 脇山分団

Hero story

災害時の活動



指令を受けたら、すぐに現場に駆けつけます。自然の脅威を目の当たりにして驚くこともありますが、高齢の方のお宅をまわって公民館への避難を呼びかけるなど、自分にできることを一生懸命やります。

消防操法大会で優勝



分団ごとに放水のスピードなどを競う、「消防操法大会」で優勝しました。そこで芽生えた「あきらめなければできるようだ」という自信は、農業の新品種開発などの場にも活かされています。

伝統の技を伝承



「まとい会」に所属して、伝統技術の普及と伝承につとめています。「まとい」は消防団の名物です。最初はなかなか上手に振ることができずでしたが、今は指導員として後輩などに演技指導を行っています。

「もしも」の時こそ、みんなのチカラになりたい。

災害時の活動



消火活動

火災発生時には、自宅や職場から現場に駆けつけます。初期消火、後方支援など、その場に応じた活動を展開します。



捜索・救助活動

大規模災害発生時等に地域をよく知る立場から、他機関と連携をとって、捜索・救助活動、避難誘導を行います。



水防活動

台風などの風水害の際は、河川の水位の警戒、土のうづくり・土のう積みのほか、排水・浸水防止などに迅速に対応します。

消防団データ

全国の消防団数	消防団員の数	女性消防団員の数
約2,200団 (全ての市町村に設置)	約84万人 (被雇用者の割合は7割超)	約2.6万人 (人数は増加傾向)

消防団の特徴

地域密着性	管轄区域内に居住、勤務または通学
要員動員力	消防団員数は消防職員数の約5.1倍
即時対応力	日頃からの教育訓練により災害対応の技術・知識を習得

「もしも」に備えて、みんなのチカラになりたい。

平常時の活動



消火・防災訓練

火災現場での活動を想定した訓練(放水訓練等)を行っています。また、各地域で開催される防災訓練にて、自主防災組織等への訓練指導等を実施しています。



救命講習会

万が一に備えて、救急車が到着するまでの応急手当方法や、AEDの使い方などを講習会で指導しています。



防火啓発活動

各家庭を訪問しての防火指導、幼稚園などでの防火教育等の啓発活動を行っています。

地域の防災体制

